

第7回 四大学連合文化講演会

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学

環境・社会・人間における「安全・安心」を探る — 安全で安心の出来る社会 —

～学術研究の最前線をやさしく解説する～

2012年10月12日(金) 13:00～16:30

- 場 所：東京工業大学
70周年記念講堂(目黒区大岡山2-12-1)
- 主 催：四大学連合
(東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)
- 共 催：日本経済新聞社
- 企 画：四大学連合附置研究所
- 後 援：お茶の水会、東京外語会、蔵前工業会、如水会
- 定 員：500名(入場無料)

お申込・お問合せ先

東京工業大学 原子炉工学研究所
〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 N1-16
TEL:03-3754-3052 (8月16日より平日9:00から17:00)
FAX:03-5734-3749 E-mail:yondai@nr.titech.ac.jp
URL:<http://www.nr.titech.ac.jp/yondai2012/>

申込
方法

参加ご希望の方は、インターネット又は葉書・FAXにて郵便番号・住所・氏名・年齢・所属先等を明記し、2012年9月28日(金)必着(先着順)で、上記宛先までお申し込み下さい。

プログラム

- 12:20 開場
- 13:00-13:10 開会挨拶 東京工業大学 学長
- 13:10-13:20 来賓挨拶 文部科学省
- 13:20-14:00 「子供期の経験とその後の人生」
一橋大学 経済研究所 教授 小塩 隆士
- 14:00-14:40 「盟神探湯(くがたち)と人民裁判」
—マダガスカルにおける国家の法と民衆の掟との隙間—
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 教授 深澤 秀夫
- 14:40-15:00 休憩
- 15:00-15:40 「からだを守るしくみ“免疫”から学ぶ処世術」
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授 樗木 俊聡
- 15:40-16:20 「自宅が発電所になる時代」
—燃料電池による高効率発電を目指して—
東京工業大学 資源化学研究所 教授 山口 猛央
- 16:20-16:30 閉会挨拶 一橋大学 学長

講演者紹介



一橋大学経済研究所 教授
小塩 隆士(おしお たかし)

1960年生まれ。1983年東京大学教養学部卒。経済企画庁(現内閣府)、JPモルガン、神戸大学等を経て、2009年より現職。大阪大学博士(国際公共政策)。一橋大学経済研究所・世代間問題研究機構長。専門は公共経済学。公的年金など社会保障の経済分析、教育の経済分析などのほか、最近では所得格差・貧困と健康との関係に関する社会疫学的研究、幸福感など主観的厚生決定要因に関する実証分析を進めている。著書に『効率と公平を問う』『再分配の厚生分析』『社会保障の経済学』『教育の経済分析』(いずれも日本評論社)等。

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/oshio.html>



東京医科歯科大学
難治疾患研究所 教授
樗木 俊聡(おおてき としあき)

1961年生まれ。東北大学大学院博士過程終了後、スイス・カナダ留学、慶應義塾大学医学部助手・専任講師を経て、2002年秋田大学医学部教授、2008年より独立行政法人科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業「アレルギー疾患・自己免疫疾患などの発症機構と治療技術」領域、研究代表者業務。2009年より東京医科歯科大学難治疾患研究所教授。免疫細胞や組織幹細胞を用いて、難治疾患の病態解明を目指し研究を行っている。2007年、日本免疫学会賞受賞。

<http://www.tmd.ac.jp/mri/bre/index.html>



東京外国語大学
アジア・アフリカ言語
文化研究所 教授
深澤 秀夫(ふかざわ ひでお)

1954年生まれ。1981年～1985年、マダガスカル大学アンタナナリヴ分校文学部留学。1986年、一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程退学。日本学術振興会特別研究員、跡見学園短期大学専任教員を経て、1993年より東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所に所属。専門は社会人類学、調査地域はマダガスカルを中心とするインド洋西域島嶼(とうしょ)社会。

<http://www.aa.tufs.ac.jp/~nfuka/>



東京工業大学
資源化学研究所 教授
山口 猛央(やまぐち たけお)

1966年生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。コロラド大学研究員、東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻助手、講師、助教授を経て、2007年より東京工業大学資源化学研究所教授。専門は、燃料電池、生体システム発想材料、機能膜。材料機能のシステム設計を提唱し、分離膜・機能膜および燃料電池材料等の分野で世界をリードする。

<http://www.res.titech.ac.jp/~zairyosys/yamaguchilab/index.html>

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として、世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この11年間に世界第1級の研究成果を数多く取り上げてまいりました。第7回目の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

講演要旨

「子供期の経験とその後の人生」

一橋大学

経済研究所 教授 **小塩 隆士** (おしお たかし)

「子供の貧困」問題が深刻化している。社会経済的に不利な家庭に育った子供たち、親に虐待された子供たちは、その後どのような人生を送るのか。実証分析に基づき、「安心できる社会」実現のための処方箋を考える。

「^{く が た ち}盟神探湯と人民裁判」

—マダガスカルにおける国家の法と民衆の掟との隙間—

東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所 教授 **深澤 秀夫** (ふかざわ ひでお)

国家的サービスが限りなく縮小してゆく時、治安は国家と個人との間においてどのように構成されるのか？国際的承認を得られない暫定政権体制が2009年から続くマダガスカルにおいて頻発している民衆による犯罪行為者に対する〈人民裁判〉、さらには「盟神探湯」の習慣を基に考える。

「からだを守るしくみ“免疫”から学ぶ处世術」

東京医科歯科大学

難治疾患研究所 教授 **樗木 俊聡** (おおてき としあき)

この世に生まれてから一生涯、ヒトは、病原体からからだを守る“免疫の仕組み”なしには生きられない。また、現代人を悩ませるさまざまな免疫難病は“免疫の仕組み”の暴走または異常に因ることが明らかになっている。本講演では、“免疫の仕組み”を作動させるために重要な“樹状細胞”を中心に、演者の最近の研究の一端を紹介したい。

「自宅が発電所になる時代」

—燃料電池による高効率発電を目指して—

東京工業大学

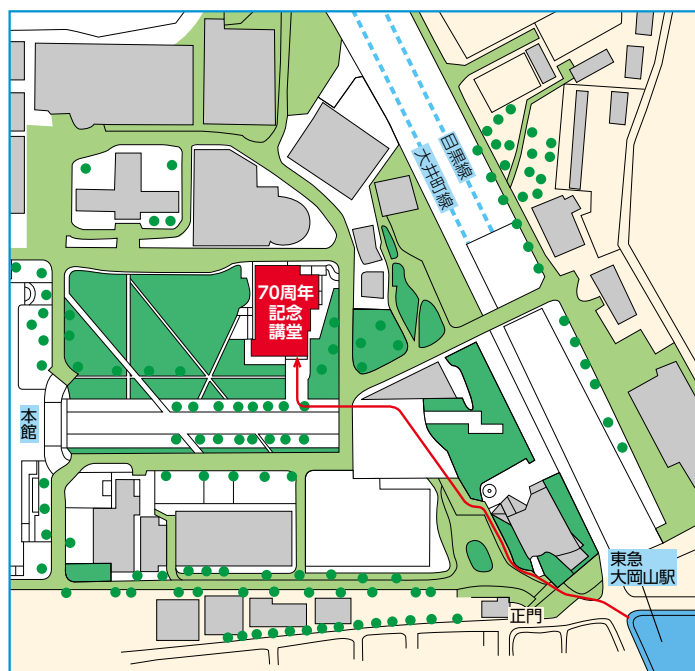
資源化学研究所 教授 **山口 猛央** (やまぐち たけお)

将来にわたる安全・安心社会を実現するためには、エネルギー供給の安定とCO₂排出量抑制の両立が求められる。同じだけ豊かな暮らしをしても必要となる燃料の量を半分に減らす。小規模でも発電効率を現状の倍にする革新的な燃料電池に関して、実現すれば何が起こるか、どのように実現するかを考えたい。

会場案内

東京工業大学 70周年記念講堂

- 東急大井町線大岡山駅(正面口)
- 東急目黒線大岡山駅(正面口)



FAX用参加申込書

送付先：03-5734-3749

第7回 四大学連合文化講演会参加申込書

お 名 前 _____

職 業 _____ 男・女 年齢(歳) _____

所 属 先 _____

ご 住 所 〒 _____

電話番号 _____

F A X _____

E m a i l _____

●お申込のきっかけ(番号に○をつけてください)

1. 講演会ホームページを見て _____)
2. 日本経済新聞の記事・広告 _____)
3. ポスターを見て _____)
4. 大学等からの案内(大学名: _____)
5. その他(_____)

※この申込書に記載された内容は、講演会のみ 사용됩니다。外部に漏れることはありません。